

「やってみたい」と「つたえたい」が動き出す！

～平岸マイプロジェクト & 平岸なんでも talks～

2026.8.20

平岸マイプロジェクト中間発表

7月9日(木)15時30分から、「平岸マイプロジェクト」ビジネスコースの中間発表会を実施しました。

当日は、ビジネスプランコンテストへの応募を目指す生徒たちが、現在考えているビジネスアイデアについて発表しました。

周りの人が視覚障がいのある方を支援しやすくするアプリ、地域を舞台としたオリジナル小説を作り地域を散策するプラン、星空を活用して地域を盛り上げるプランなど、生徒たちはそれぞれの興味・関心を出発点に、社会課題の解決や地域の活性化につながるアイデアを発表しました。



発表後には、生徒同士で質疑応答を行ったり、お互いのアイデアに対してアドバイスを送り合ったりするなど、活発な意見交換が行われました。

また、今回は日本政策金融公庫北海道創業支援センターの南宗成所長、木下福所長代理、北海道情報大学の藤本直樹教授、中道大樹氏、札幌学院大学の松本賢彦氏にもご来校いただき、それぞれの専門的な視点から貴重なアドバイスをいただきました。

今回いただいたアドバイスをもとに、生徒たちは夏休み中にビジネスプランをさらにブラッシュアップし、コンテストへの応募に向けて準備を進めていきます。今後、生徒たちの「やってみたい」がどのようなカタチになっていくのか、楽しみです。

第3回「平岸なんでも talks」を実施

7月10日(金)15時30分から、第3回「平岸なんでも talks」を実施しました。

今回の講師は3年生の寺門くん。タイトルは「後輩に伝えたい、高校生活で後悔したこと」です。

生徒会活動やキャリアクルー、部活動、そして日々の勉強など、さまざまなことに挑戦してきた寺門くんが、3年間の高校生活を振り返りながら、これまで取り組んできたことや、年内入試に向けて準備してきたこと、入試の仕組みについて、自身の経験を交えて話しました。

参加した生徒からは、「とてもためになった」「もう少しいろいろ教えてほしい」「またやってほしい」といった声が寄せられました。

こうした声に応えるため、寺門くんは参加者に向けて、夏休み明けに続編を実施することを宣言しました。

自分の経験や学んだことを誰かに伝え、その話を聞いた生徒がまた新たな学びや挑戦につなげていく。今回も「平岸なんでも talks」らしい、学びのつながりが生まれる時間となりました。

